

第21回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

試合結果・戦評報告書

競技日	8月 9日 (火)	試合番号	A一ま	回戦	3位決定戦
種 別	男子	会 場	松山市総合コミュニティーセンター体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
EHC			SOCIO OSAKA		
得点合計	小 計		小 計	得点合計	
24	6	前 半	13	19	
	18	後 半	6		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦 評

EHCのスローオフで試合が始まった。先制を決めたのはEHC⑪宮脇のカットインだった。その後のディフェンスでもSOCIOに得点をさせなかった。しかし、序盤からSOCIOのGK③安田の好セーブをはじめ、堅守でEHCの追加得点をなかなか許さなかった。そして、SOCIO②下山の速攻から、⑨雑賀のポストシュート、③大坂のサイドシュートで3連取した。EHCは、パスカットから⑭福田の速攻で得点するが、その後の⑩池田の7mTを止められるなど、SOCIOのGK③安田をはじめとする堅守で本来のオフェンスができなかった。SOCIO⑨雑賀と⑦泉原、②小幡の3連取でEHCはタイムアウトを取り、クイックリスタートからの展開や多彩なパスワークでオフェンスを試みるが、前半は⑩池田と⑮西山が得点を重ねるのみだった。逆に、SOCIOは着々と得点を重ね、②小幡と⑭中坪、⑨雑賀の3連続得点し、13対6でSOCIOがリードして前半を終わった。

後半はEHCに試合の流れが傾いた。まず、SOCIO⑭中坪の7mTをEHCのGK①武智が好セーブした。その後、EHCのクイックリスタートから⑬新のサイドシュートを皮切りに5連取した。SOCIOはGK③安田の好セーブを中心に堅守を試みるが、EHC④長谷の鋭いカットインや⑪宮脇のミドルシュート、⑮西山の速攻など、本来のオフェンスを取り戻したEHCが得点を重ねた。EHCが3連取、2連取、5連取と得点を重ねる中、SOCIOは得点を返すことができなかった。試合の主導権はEHCに大きく傾き、後半終盤の⑮西山の速攻で逆転する。その後も、試合の流れはEHCのまま進み、24対19でEHCが勝利した。

(JOT愛媛大会 男子3位決定戦 EHC — SOCIO OSAKA)



記載者氏名

矢野 克佳

送信日時

8月 9日 (火) 11:30

送信者サイン